

# 環境会計 (2005年度)

## 環境会計とは

「企業等が、持続可能な発展を目指して、社会との良好な関係を保ちつつ、環境保全への取組を効率的かつ効果的に推進していくことを目的として、事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的（貨幣単位又は物量単位）に測定し伝達する仕組み」（環境省「環境会計ガイドライン2005年版」より）です。

- 環境保全コスト ◆集計範囲：当社、(株)京阪ビジネスマネジメント、(株)京阪ステーションマネジメント  
◆集計期間：2005年4月1日～2006年3月31日

### ●環境保全コスト算出項目体系（総括表）

（単位：千円）

分類	主な取り組み内容	投資	費用	
(1) 事業エリア内コスト		1,173,398	240,037	
内訳	(1)-1 公害防止コスト	●大気汚染防止 ●水質汚濁防止 ●騒音・振動防止	694,639	80,210
	(1)-2 地球環境保全コスト	●地球温暖化防止 ●省エネルギー ●オゾン層破壊防止	454,963	55,019
	(1)-3 資源循環コスト	●廃棄物の減量化 ●リサイクル ●廃棄物の処理・処分	23,796	104,808
(2) 上・下流コスト	●グリーン購入に伴い発生した通常の購入との差額	0	11,633	
(3) 管理活動コスト	●事業所の緑化・美化 ●景観保持 ●環境報告書2005の作成	7,918	35,879	
(4) 研究開発コスト		0	0	
(5) 社会活動コスト	●自然保護 ●緑化 ●景観保持	0	0	
(6) 環境損傷対策コスト		0	0	
合計		<b>1,181,316</b>	<b>287,549</b>	

（参考）当該期間の投資総額 16,582百万円

### ●環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標（単位）	前期（基準期間）	当期	基準期間との差（環境保全効果）	
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	エネルギー投入量(MJ)	2,800,054,664	2,805,512,547	5,457,883	
	内訳	電気(MJ)	2,768,757,120	2,768,865,312	108,192
		その他エネルギー(MJ)	31,297,544	36,647,235	5,349,691
		水資源投入量(千m <sup>3</sup> )	472	505	33
	OA用紙投入量(千枚)	6,143	6,477	334	
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> )	159,069	159,334	265	
	内訳	電気(t-CO <sub>2</sub> )	157,123	157,138	15
		その他エネルギー(t-CO <sub>2</sub> )	1,946	2,196	250
		廃棄物等総排出量(t)	55,642	6,137	△49,505

### ●環境保全対策に伴う経済効果（実質的効果）

（単位：千円）

	効果の内容	金額
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクル、または使用済み製品等のリサイクルによる事業収入	22,566
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	4,772
	合計	<b>27,338</b>

### ●事業内容別・環境保全コスト（単位：千円）

事業内容	投資	費用
鉄道事業	1,181,316	258,228
その他	0	29,321
合計	<b>1,181,316</b>	<b>287,549</b>

#### 環境会計の考え方

環境省「環境会計ガイドライン2005年版」を参考にし、社団法人 日本民営鉄道協会「民鉄事業／環境会計ガイドライン2003年版」に準拠しました。環境保全コストは確実に把握できる取り組みについてのみ計上しました。環境保全対策に伴う経済効果については、環境保全効果があったエネルギーについてのみ計算しました。費用額には減価償却費を計上していません。